

2017年5月8日 訂正版

2017年2月期決算説明会

2017年4月14日

株式会社IDOM
(7599)

I. 実績 & 計画サマリー

II. 業績に影響する5つのポイント

III. 中期経営戦略

参考資料

IV. 配当金

V. トピックス

VI. 補足情報

会計基準に関する補足説明

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的に、2017年2月期 期末決算からIFRS（国際財務報告基準）の適用を検討しておりました。しかしながら、国内外の諸情勢やIFRSの適用に伴い発生を見込む費用が当社グループの利益に与える影響等を考慮し、延期することとしました。当面の間は適用を見送り、従来どおり日本基準での開示を継続してまいります。

本資料に掲載されている当社の業績見込み等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。市場の動向や経済情勢等の様々な要因により、実際の業績はこの予想とは大きく異なる結果となる可能性がございます。

I . 実績 & 計画サマリー

	2016年2月期		2017年2月期
買取台数	180,996台	➡	186,175台
卸売台数	118,966台	➡	104,029台
小売台数	70,709台	➡	95,333台
販管費(個別)	384.4億円	➡	466.3億円
営業利益(個別)	68.4億円	➡	45.3億円

※買取台数、卸売台数、小売台数は、いずれも直営店における台数です。

■買取台数の増加要因

ガリバー店舗の買取集客コスト(広告宣伝費)の増加。

■卸売台数の減少要因

小売台数が増加した分、卸売台数は減少。

■小売台数の増加要因

(1)展示販売店舗数の増加(前年同期末比45店舗純増)。

(2)展示販売店舗の店舗あたり小売台数増加。

■販管費の増加要因

(1)ガリバー店舗の買取集客コスト(広告宣伝費)の増加。

(2)展示販売店舗数の増加に伴う店舗運営費用の増加。

(3)新サービス費用(未来市場開拓費用)の増加。

(4)採用人数増加に伴う人件費の増加。

[連結] 2017年2月期の増益要因・減益要因

2016年2月期 [連結] 営業利益
実績 75.4億円

2017年2月期 [連結] 営業利益
実績 44.9億円

差異

- | | | |
|---|----------------------|------|
| 1 | ガリバー店舗の買取集客コストの増加 | マイナス |
| 2 | ガリバー店舗の小売価格戦略の見直し | — |
| 3 | 新サービス費用(未来市場開拓費用)の増加 | マイナス |
| 4 | 豪州子会社の業績低調 | マイナス |
| 5 | 展示販売店舗の展開 | プラス |

■豪州子会社の補足

- (1) 豪州子会社Buick Holdings(DVG)は、西豪州で新車ディーラーを経営。
- (2) 前3Qより連結子会社化。

	2017年2月期		2018年2月期 計画
買取台数	186,175台	➡	187,000台
卸売台数	104,029台	➡	88,000台
小売台数	95,333台	➡	116,000台
販管費(個別)	466.3億円	➡	505億円
営業利益(個別)	45.3億円	➡	54億円

※買取台数、卸売台数、小売台数は、いずれも直営店における台数です。

■買取台数の前提

ガリバー店舗の買取集客コスト(広告宣伝費)は前期並み。

■卸売台数の減少要因

小売台数が増加した分、卸売台数は減少。

■小売台数の前提

(1)展示販売店舗数の増加(前年同期末比45店舗純増)。

(2)展示販売店舗の店舗あたり小売台数は前期並み。

■販管費の増加要因

展示販売店舗数の増加に伴う店舗運営費用の増加。

[連結] 2018年2月期計画の増益要因・減益要因

2017年2月期 [連結] 営業利益
実績 44.9億円

2018年2月期 [連結] 営業利益
計画 55億円

増益

1 ガリバー店舗の買取集客コストの継続投下

前期並み

2 ガリバー店舗の小売価格戦略の見直し

マイナス

3 新サービス費用(未来市場開拓費用)の減少

プラス

4 豪州子会社の業績改善

プラス

5 展示販売店舗の展開

プラス

II. 業績に影響する5つのポイント

1 ガリバー店舗の集客コストと買取台数

2 ガリバー店舗の小売価格

3 新サービス費用

4 豪州子会社

5 展示販売店舗

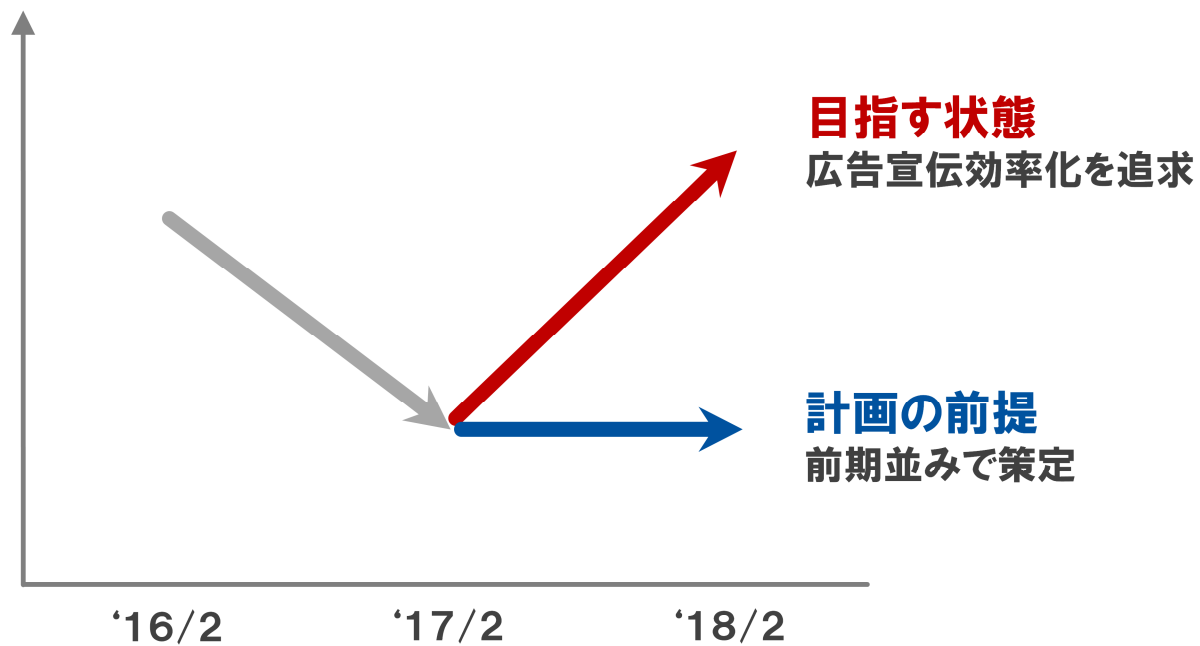


ガリバー店舗の買取集客コストと買取台数

	2017年2月期 実績(前期比)	2018年2月期 計画(前期比)
新車市場	減少	前期並み
ガリバー店舗への 新車乗換層の来店	減少	前期並み
ガリバー店舗の 買取集客コスト	増加	前期並み
ガリバー店舗の 買取台数	微増	前期並み

広告宣伝の効率性

買取1台あたりの広告宣伝効率



■広告宣伝の効率性の補足

- (1) 広告宣伝の効率化は目指すが、計画は前期並みで策定。
- (2) 四半期ごとに広告宣伝の効率化引き上げを目指す。

1 ガリバー店舗の集客コストと買取台数

2 ガリバー店舗の小売価格

3 新サービス費用

4 豪州子会社

5 展示販売店舗





ガリバー店舗

+



アウトレット店舗の
小売ノウハウ

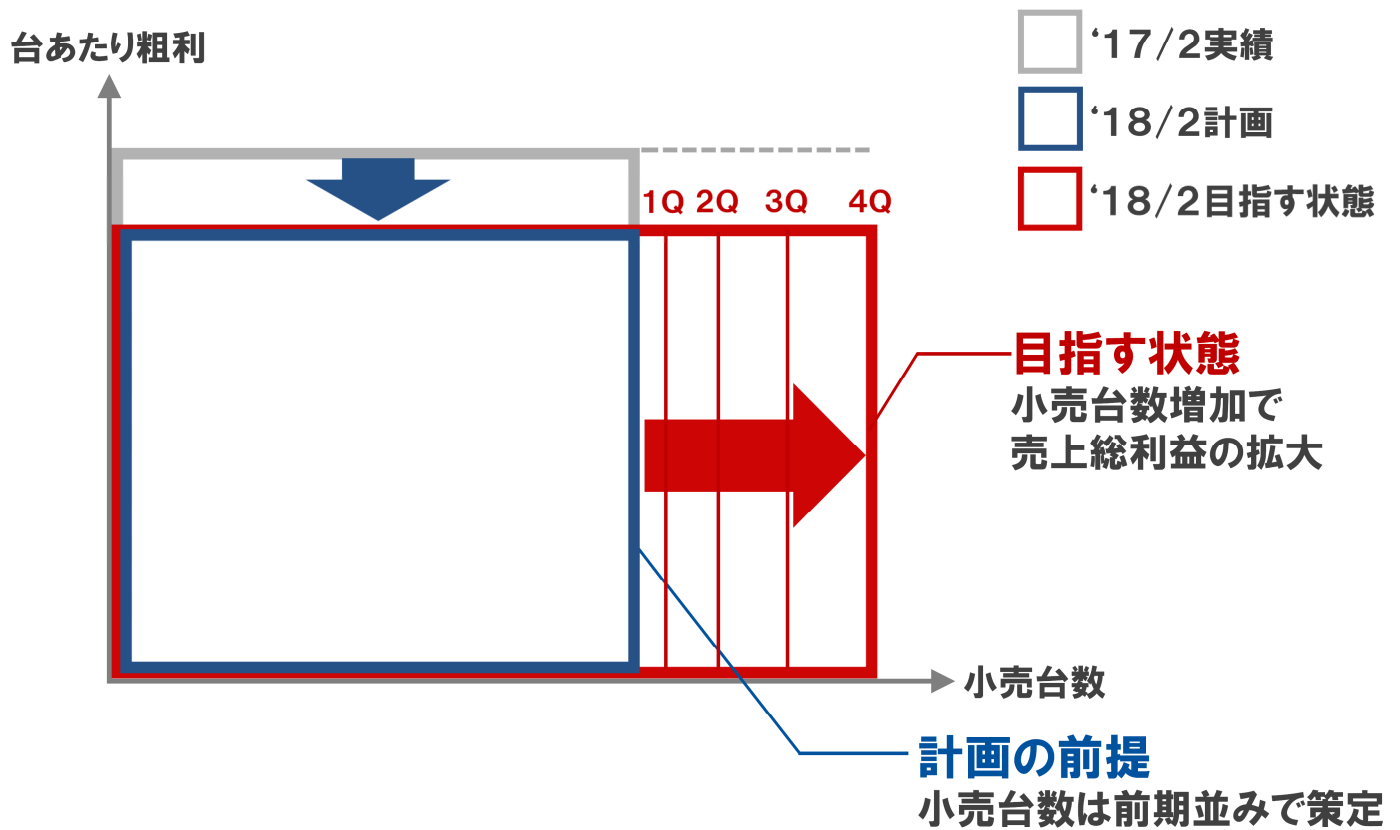


“ガリバー展示販売モデル”を開始
小売価格を引き下げ

■ガリバー展示販売モデルの補足

- (1)ガリバー店舗で、現車を展示して小売するモデル。
- (2)4月より店舗を拡大。
- (3)新たな投資や費用増加は発生しない。

ガリバー店舗の小売価格引き下げの狙い



■ガリバー店舗の小売台数の補足

- (1) 先行して展開したガリバー展示販売モデル導入店舗では、3月の小売台数が大幅に増加。
- (2) 小売台数は前期比増加を目指す、計画は前期並みで策定。
- (3) 四半期ごとに小売台数を引き上げを目指す。

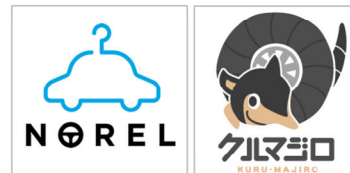
1 ガリバー店舗の集客コストと買取台数

2 ガリバー店舗の小売価格

3 新サービス費用

4 豪州子会社

5 展示販売店舗



新車市場の低迷を受け、新たな利益機会の創出が急務と判断



広域な事業ドメインを設定し、複数のプロジェクトを検討



事業化を意思決定したのは、**既存事業とシナジー**が高いサービス

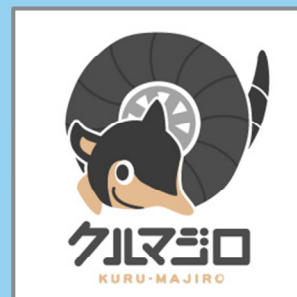
「NOREL」「クルマジロ」を開始



買取車両(フロー在庫)活用した
月額クルマ乗換サービス



NOREL粗利を創出



買取の未成約顧客を取り込む
C to C プラットフォーム



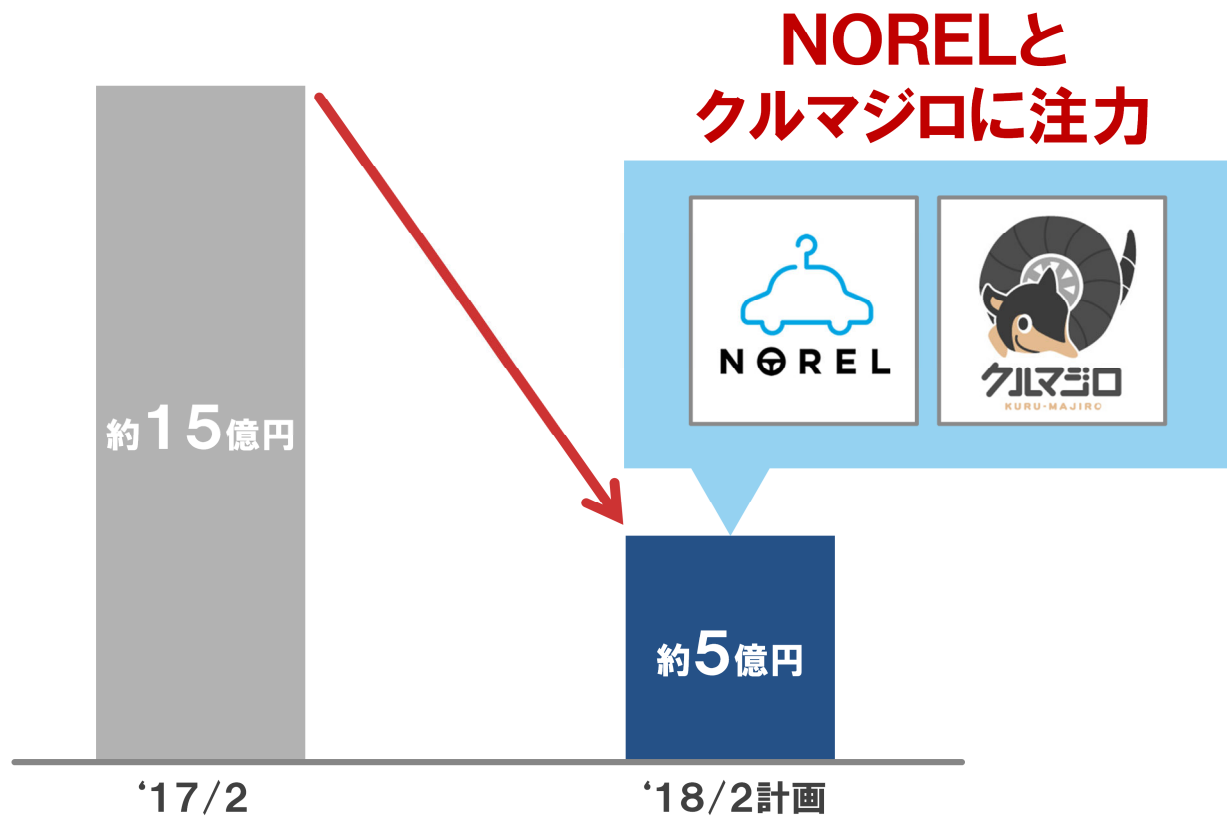
**手数料の取得
or
買取成約率向上**

■NORELの状況

- (1) 1都3県を対象に展開。
- (2) 現在の会員数は約200会員。4月より新規会員の受付を再開。
- (3) 料金プランを月額 39,800円、59,800円、79,800円の3プランに変更。

■クルマジロの状況

- (1) ガリバー店舗でのクルマジロ登録促進を開始し、クルマジロ出品台数が増加。
- (2) クルマジロ成約率は低い状況だが、ガリバー店舗での買取成約に貢献。



■新サービス費用の補足

18/2は、NORELとクルマジロのオペレーション費用
(人件費、ソフトウェア償却費、マーケティング費用など)が中心。

1 ガリバー店舗の集客コストと買取台数

2 ガリバー店舗の小売価格

3 新サービス費用

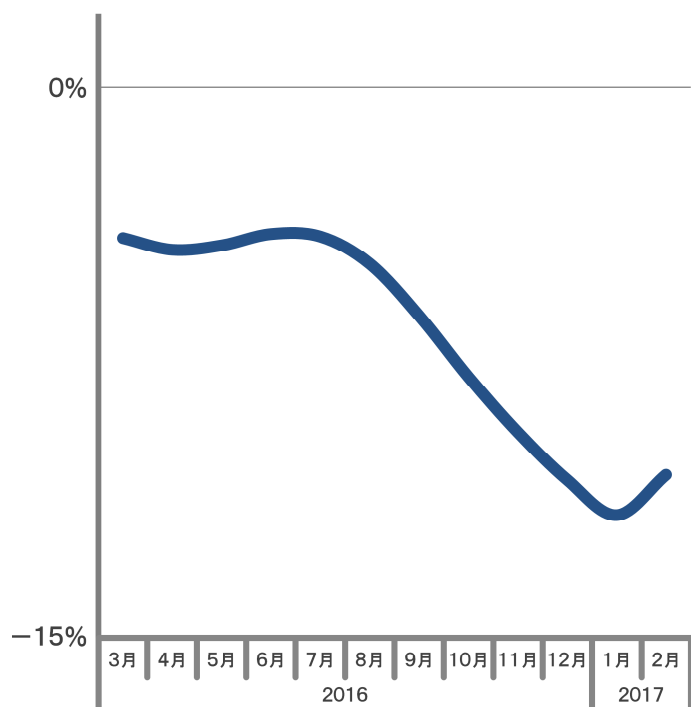
4 豪州子会社

5 展示販売店舗



Buick Holdings(DVG)の状況

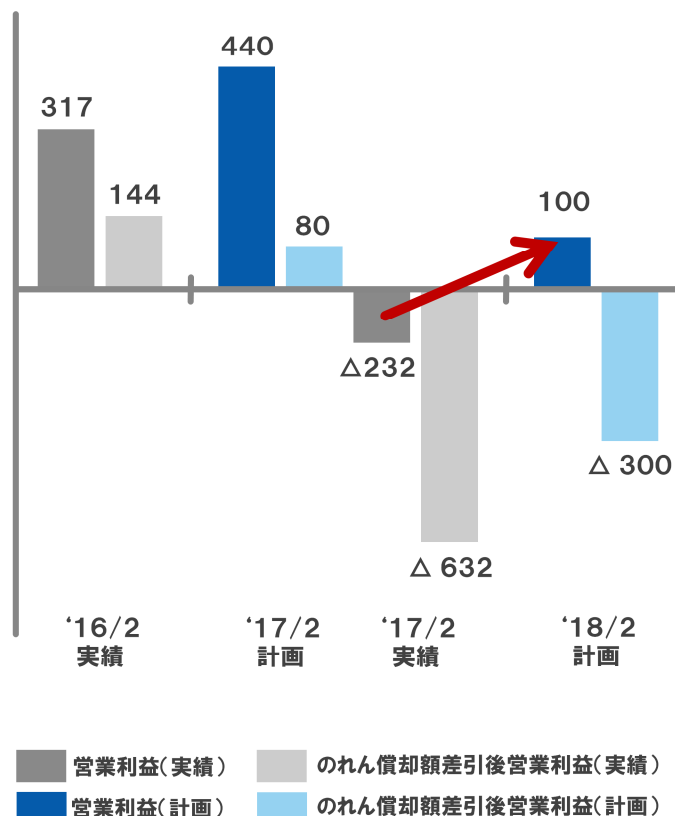
西オーストラリア新車市場(前年同期比増減率)



出所: Sales of New Vehicle, Australian Bureau of Statistics

営業利益・のれん償却額差引後営業利益

(単位: 百万円)



■西オーストラリア新車市場の状況

- (1) 各月、前期比マイナスで推移。
- (2) 4Qは、△11%とマイナス幅が拡大。

■業績改善に向けた取り組み

- (1) 17/2 3Qにおけるマネジメント体制変更。
- (2) IDOMのノウハウを活用した取り組み
(デジタルマーケティング、アフターサービス、在庫管理など)。
- (3) 法人需要の開拓。

1 ガリバー店舗の集客コストと買取台数

2 ガリバー店舗の小売価格

3 新サービス費用

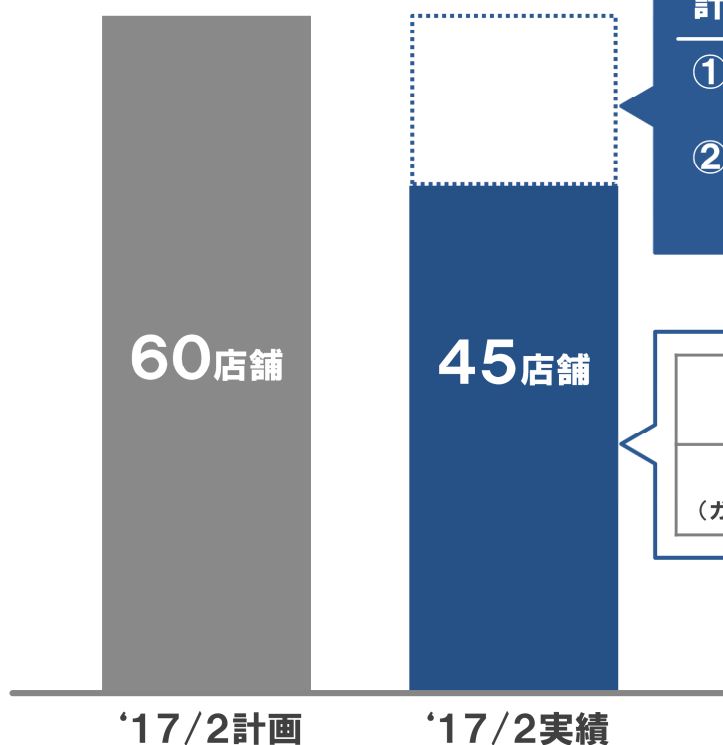
4 豪州子会社

5 **展示販売店舗**



2017年2月期の直営店の出店実績

純増店舗数(直営店)



22

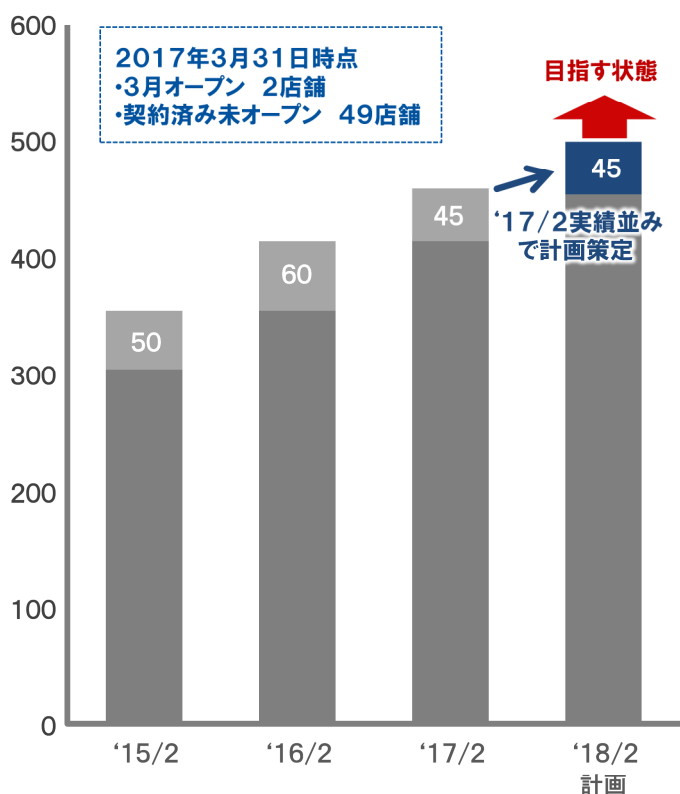
■新規出店チャネル

- (1) アウトレット店を中心に新規出店を加速。
- (2) 軽自動車 ミニクル、外車 LIBERALA、ショッピングモール HUNT の出店が続く。

純増店舗数と展示販売店舗の状況

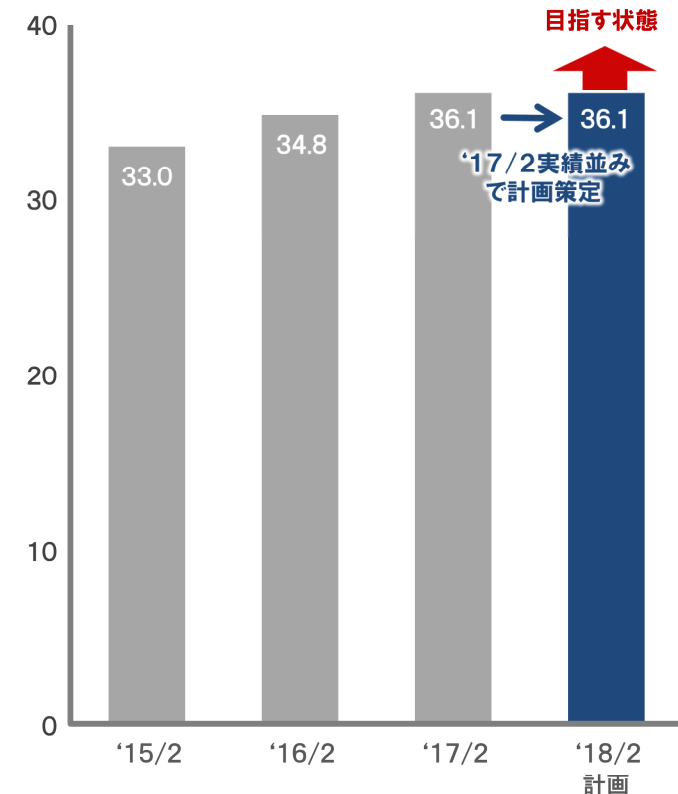
純増店舗数(直営店)

(単位:店)



展示販売店舗(既存店)の平均小売台数/月

(単位:台)



※前期末までにオープンし、当期フル稼働している店舗における小売台数の月間平均

■展示販売店舗の小売台数の補足

- (1) 展示販売店舗の小売台数(既存店)は、平均36.1台/月と、前期実績34.8台を上回った。
- (2) 特に、アウトレット店の好調が続く。
- (3) アウトレット店は地方で好調。出店余地が多く、当面、出店継続。
- (4) 18/2 も平均小売台数は増加を見込むが、計画は17/2実績で策定。

2017年2月期にオープンした展示販売店舗

Gulliver's
OUTLET

OL12号岩見沢
北海道岩見沢市



OL佐賀環状東通り
佐賀県佐賀市



OL仙台港
宮城県仙台市



OL富士宮
静岡県富士宮市



OL13号横手
秋田県横手市



OL藤枝
静岡県藤枝市



OL長崎時津
長崎県西彼杵郡



OL草津
滋賀県草津市



OL土浦荒川沖
茨城県土浦市



OL小松
石川県小松市



OL茂原
千葉県茂原市



OLひたちなか
茨城県ひたちなか市



OL4号花巻
岩手県花巻市



OL7号酒田
山形県酒田市



OL10号延岡
宮崎県延岡市



24

2017年2月期にオープンした展示販売店舗

OLいわき小名浜
福島県いわき市



OL富士青葉通り
静岡県富士市



OL3号新宮
福岡県糟屋郡



OL鶴岡
山形県鶴岡市



OL41号高山
岐阜県高山市



OL21号各務原
岐阜県各務原市



OL1号沼津
静岡県沼津市



OL会津若松
福島県会津若松市



OL27号敦賀
福井県敦賀市



OL旭川永山
北海道旭川市



OL八戸類家
青森県八戸市



OL8号上越
新潟県上越市



OL泉佐野
大阪府泉佐野市



ミニクル甲府バイパス
山梨県甲府市



ミニクル宮崎北バイパス
宮崎県宮崎市



25

2017年2月期にオープンした展示販売店舗

ミニクル36号 苫小牧
北海道苫小牧市



ミニクル横手
秋田県横手市



ミニクル旭川永山
北海道旭川市



ミニクル長崎時津
長崎県西彼杵郡



ミニクル38号 釧路
北海道釧路市



ミニクル仙台バイパス若林
宮城県仙台市



ミニクル宇都宮
栃木県宇都宮市



ミニクル秋田茨島
秋田県秋田市



スナップハウス1号 豊橋
愛知県豊橋市



リベラーラ岐阜
岐阜県岐阜市



リベラーラ熊本
熊本県熊本市



リベラーラ帯広
北海道帯広市



リベラーラ富山
富山県富山市



リベラーラ郡山
福島県郡山市



26

2017年2月期にオープンした展示販売店舗



HUNTモレラ岐阜
岐阜県本巣市



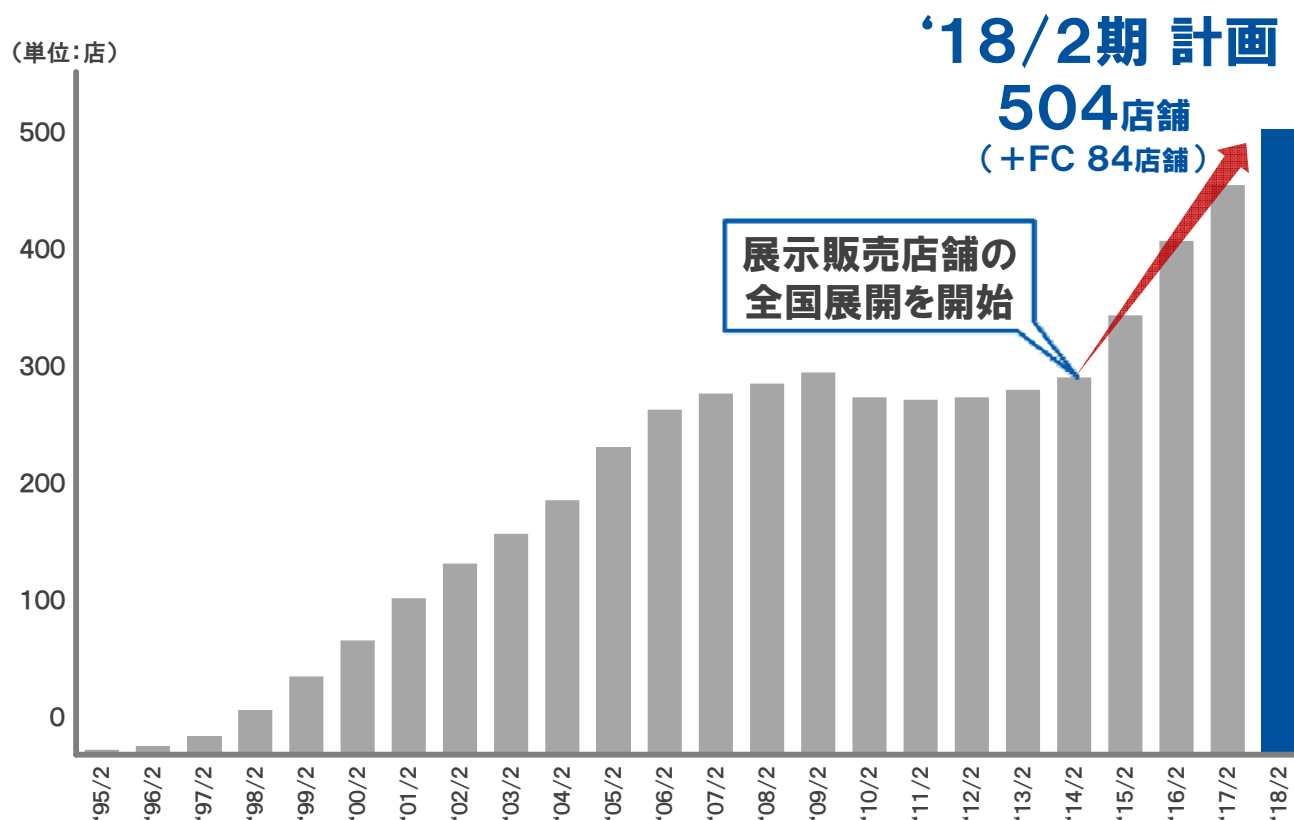
HUNTイオンモール今治新都市
愛媛県今治市



27

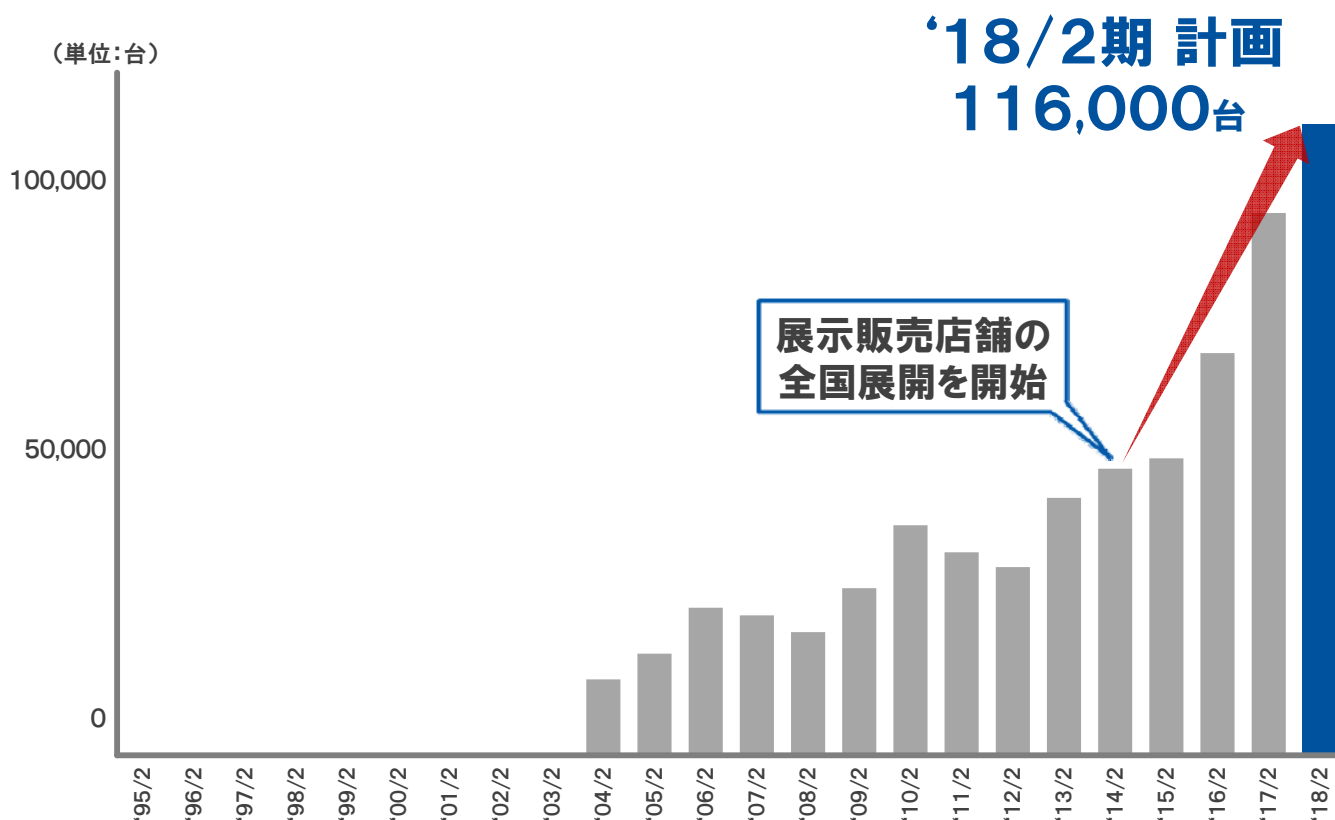
III. 中期経営戦略

全直営店舗数の推移



29

小売台数の推移

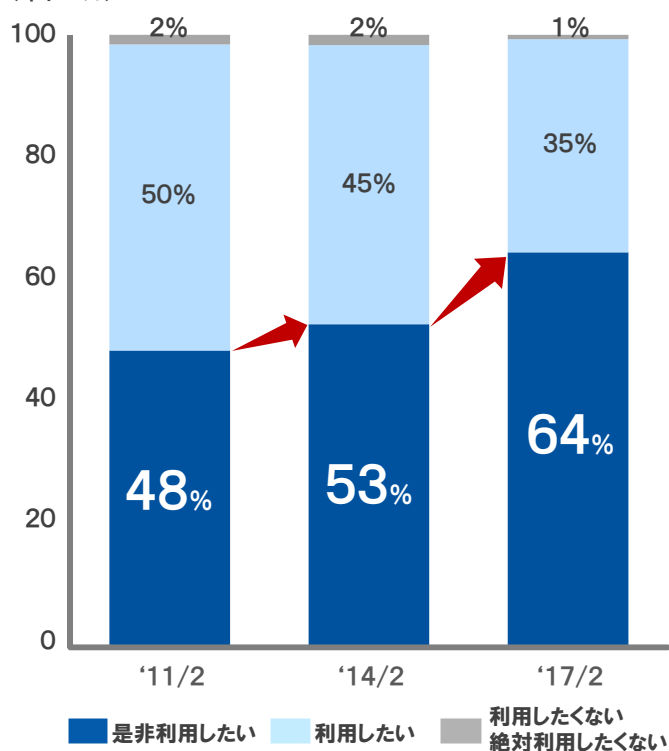


30

店舗を利用したお客様の評価

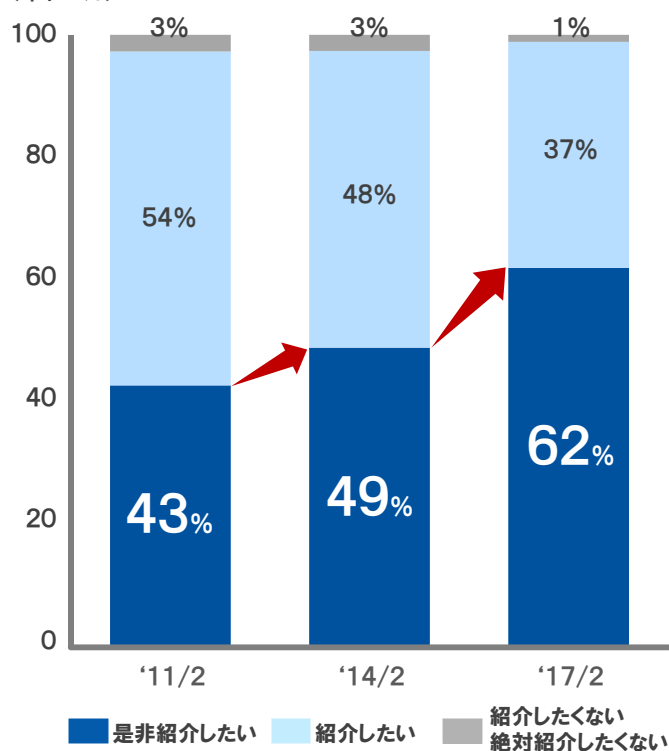
店舗を再利用(リピート)したいか

(単位: %)



店舗を友人・家族に紹介したいか

(単位: %)



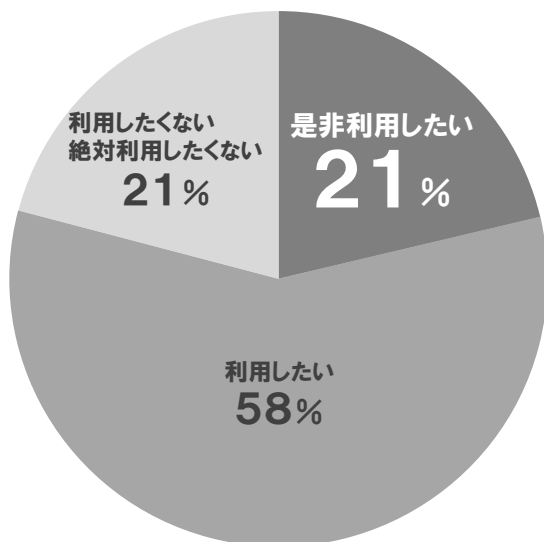
※展示販売店舗およびガリバー店舗を利用したお客様からのCSアンケートハガキを集計。

31

再利用(リピート)意向の他社比較

他社店舗の利用者(中古車購入者全体) 2017年4月調査

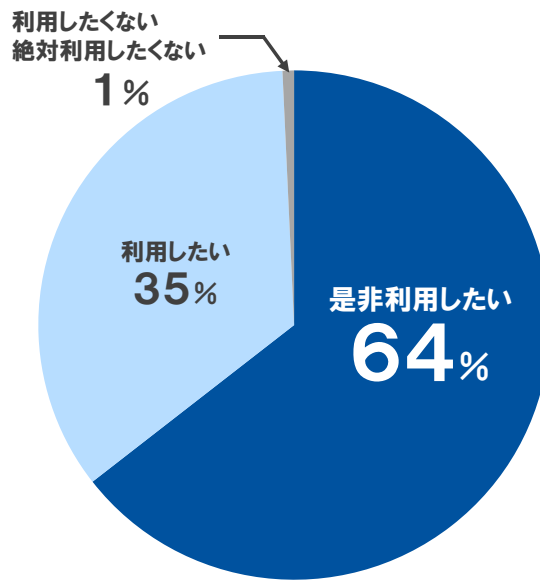
Q 車を買替える際に、購入した店舗をまた利用したいと
思いますか？



※2017年4月Webアンケートの実施結果(対象 中古車ユーザー1000人)

IDOM各店舗の利用者 2016年3月～2017年2月

Q 今後もガリバー [各チャネル] を利用したいと思いますか？



※展示販売店舗およびガリバー店舗を利用したお客様からのCSアンケートハガキを集計
(当社利用のお客様 有効返信数44,441人)。

32

展示販売店舗の出店を継続し、小売台数の拡大を図る

2017年2月末実績

2021年2月期までの方針



174店舗

年間45～60店舗
の出店を継続



285店舗

現状の店舗数を維持

33

展示販売店舗の出店を継続し、小売台数の拡大を図る

2017年2月末実績

中期目標



174店舗

年間45～60店舗
の出店を継続

小売台数

小売台数

95,333台

160,000台

シェア3.5%※

シェア5.9%※



285店舗

現状の店舗数を維持

34

撤退の 柔軟性

自社で土地を所有しない
各チャネルの立地は同条件・建物は同規格

投資の 採算性

36ヶ月で投資回収可能であること

営業の 良質性

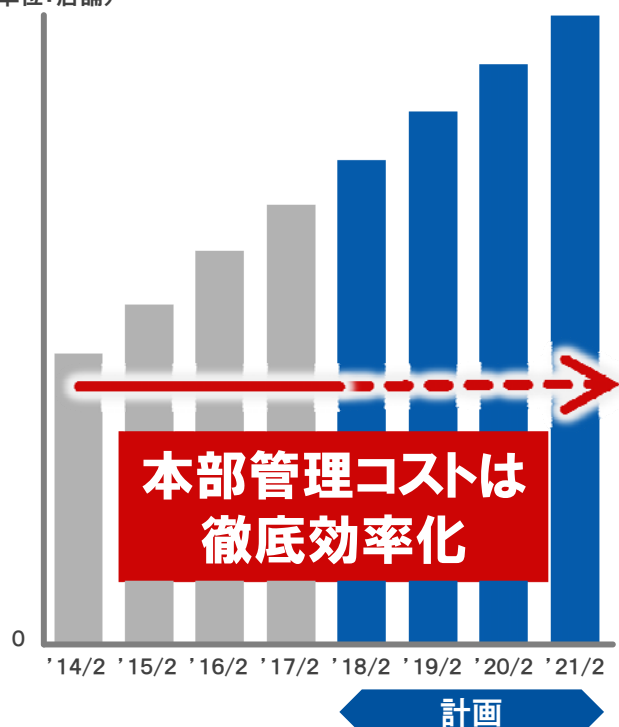
店長候補育成と営業人員採用に合わせた出店
意思決定

35

店舗拡大と同時に進める生産性の向上策

直営店舗数と本部管理コスト(イメージ)

(単位:店舗)



根付いたカイゼン文化とIT活用

事例

- 店舗業務の
オペレーションセンター集約化
- 書類管理システムの導入
- 本部一括査定システム リニューアル
(デジタルデバイス利用による査定、
価格算出自動化プログラム等)
- 売買契約書の電子化(買取)
- コールセンターシステム リニューアル
- 物理的サーバーの廃止・クラウド化

etc.

36

① 日本最大の店舗網

② 質の高い営業組織

この2つ強みがあるから、
日本最大の“自動車販売インフラ”が完成

37

オンラインだけでは完結しない3大支出

不動産（住宅）

保 険（生保・損保）

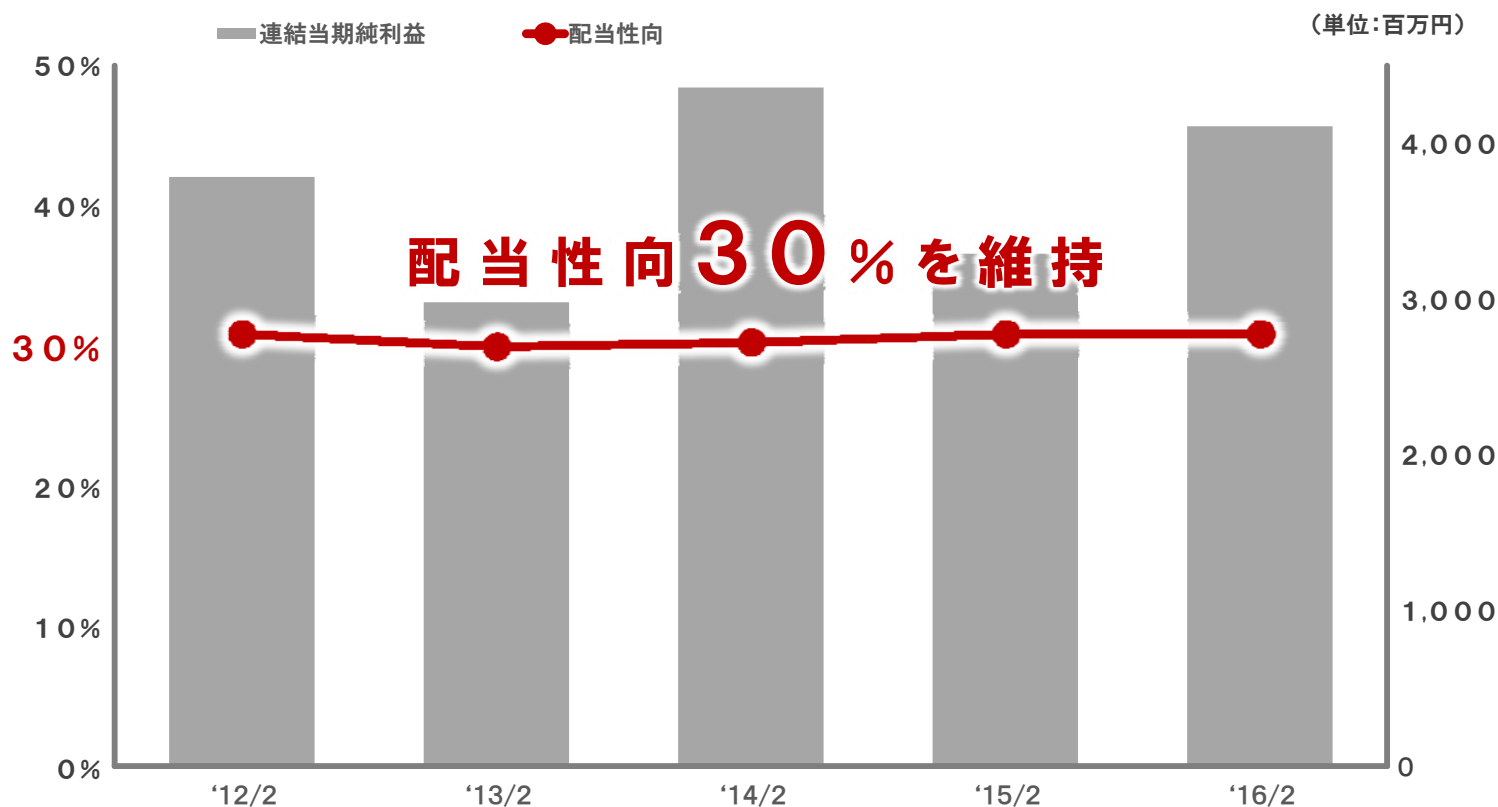
自動車（中古車）

38

お客様のために **“自動車流通革命”**を起こす

IV. 配当金

過去の配当性向の実績



※2015年2月期は、記念配当を除く普通配当をベースに配当性向を計算。

41

当期の配当金決定方法の見直し

	従来	今後 (2017年2月期末～)
変更なし 配当方針	業績連動型	業績連動型
一部見直し 当期の配当金 決定方法	当期 の連結当期純利益×30% (当期の連結EPS×30%)	前期 の連結当期純利益×30% (前期の連結EPS×30%)
変更なし 年間配当回数	2回 (第2四半期末・期末)	2回 (第2四半期末・期末)

※「企業結合に関する会計基準の変更」等に伴い、2017年2月期末より連結ベースの「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」と表示変更されますので、「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」と読み替えてご覧下さい。

42

今期の配当計画

配当方針

業績連動型配当を行う。

当期の配当金 決定方法

原則として、前期の連結当期純利益×30%を計算し、当期の配当金額を決定する。

1株当たり配当金の状況

(単位:円)

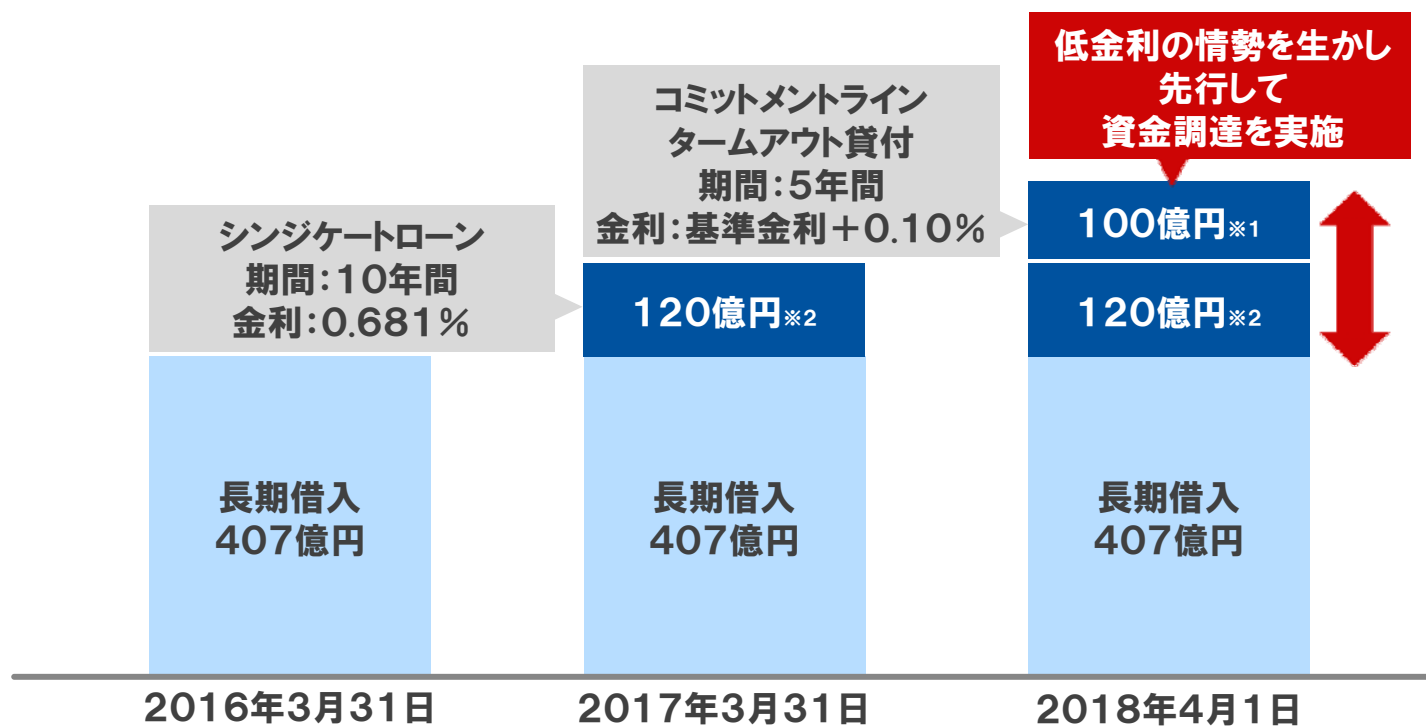
	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期 (計画)
第2四半期末	7.50	6.00	3.50
期末	5.00	6.00	3.50
年間	12.50	12.00	7.00

2016年2月期
連結当期純利益
をベースに決定

2017年2月期
連結当期純利益
をベースに決定

※「企業結合に関する会計基準の変更」等に伴い、2017年2月期末より連結ベースの「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」と表示変更されますので、「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」と読み替えてご覧下さい。

V. トピックス

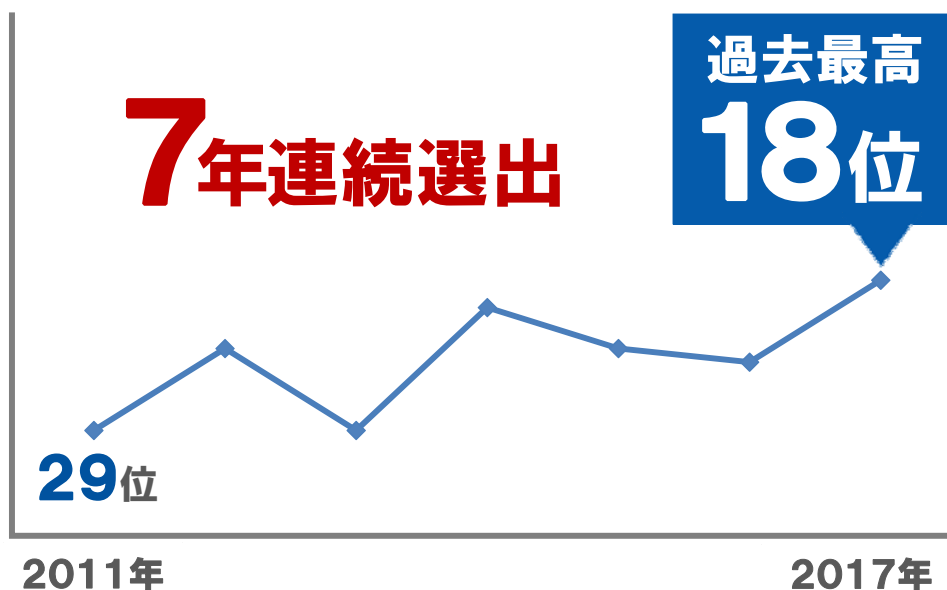


※1 詳細は、2016年3月29日開示の「資金の借入及びコミットメントライン契約締結に関するお知らせ」を参照下さい。
 ※2 詳細は、2017年3月15日開示の「シンジケートローン契約締結に関するお知らせ」を参照下さい。

「働きがいのある会社」ランキングに7年連続選出



従業員1,000名以上部門



Great Place to Work® Institute Japan主催
 企業の取り組みと実態、従業員の意識を調査
 参加社数は年々増加(2017年379社)

1	ワークスアプリケーションズ
2	アメリカン・エクスプレス
3	Plan・Do・See
4	ディスコ
5	ブルデンシャル生命保険
6	モルガン・スタンレー
7	DHLジャパン
8	日本イーライリリー
9	アビームコンサルティング
10	良品計画
11	ジョンソン・エンド・ジョンソン 日本法人グループ
12	東京海上日動システムズ
13	インテリジェンス
14	三幸グループ
15	三菱UFJ インフォメーションテクノロジー
16	アクセンチュア
17	ルネサンス
18	IDOM
19	アディダス ジャパン
20	3Mジャパングループ

VI. 補足情報

【連結・個別】損益計算書

通期(連結)	2015年2月期		2016年2月期		2017年2月期		2018年2月期			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	計画 (百万円)	構成比 (%)	差異 (百万円)	前期比 (%)
売上高	155,681	100.0	210,085	100.0	251,516	100.0	259,500	100.0	7,984	3.2
売上原価	116,605	74.9	158,474	75.4	190,383	75.7	193,300	74.5	2,917	1.5
売上総利益	39,075	25.1	51,610	24.6	61,133	24.3	66,200	25.5	5,067	8.3
販売費及び一般管理費	33,750	21.7	44,067	21.0	56,634	22.5	60,700	23.4	4,066	7.2
営業利益	5,325	3.4	7,542	3.6	4,498	1.8	5,500	2.1	1,002	22.3
経常利益	5,345	3.4	6,835	3.3	4,160	1.7	4,900	1.9	740	17.8
税金等調整前当期純利益	5,157	3.3	6,610	3.1	3,692	1.5	4,500	1.7	808	21.9
親会社株主に帰属する当期純利益	3,286	2.1	4,111	2.0	2,247	0.9	2,800	1.1	553	24.6

通期(個別)	2015年2月期		2016年2月期		2017年2月期		2018年2月期			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	計画 (百万円)	構成比 (%)	差異 (百万円)	前期比 (%)
売上高	153,171	100.0	179,367	100.0	198,434	100.0	206,000	100.0	7,566	3.8
売上原価	114,992	75.1	134,077	74.8	147,268	74.2	150,100	72.9	2,832	1.9
売上総利益	38,178	24.9	45,289	25.2	51,166	25.8	55,900	27.1	4,734	9.3
販売費及び一般管理費	33,137	21.6	38,447	21.4	46,632	23.5	50,500	24.5	3,868	8.3
営業利益	5,041	3.3	6,841	3.8	4,534	2.3	5,400	2.6	866	19.1
経常利益	6,024	3.9	6,384	3.6	4,649	2.3	5,100	2.5	451	9.7
税引前当期純利益	5,837	3.8	6,155	3.4	3,858	2.0	4,700	2.3	842	21.8
当期純利益	4,091	2.7	3,949	2.2	2,558	1.3	3,000	1.5	442	17.3

48

【連結・個別】損益計算書(第2四半期累計)

第2四半期累計(連結)	2015年2月期 第2四半期累計		2016年2月期 第2四半期累計		2017年2月期 第2四半期累計		2018年2月期 第2四半期累計			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	計画 (百万円)	構成比 (%)	差異 (百万円)	前期比 (%)
売上高	74,631	100.0	95,024	100.0	124,244	100.0	127,200	100.0	2,956	2.4
売上原価	55,828	74.8	71,573	75.3	94,539	76.1	95,400	75.0	861	0.9
売上総利益	18,802	25.2	23,450	24.7	29,704	23.9	31,800	25.0	2,096	7.1
販売費及び一般管理費	16,075	21.5	19,371	20.4	27,532	22.2	29,700	23.3	2,168	7.9
営業利益	2,727	3.7	4,079	4.3	2,172	1.7	2,100	1.7	△72	△3.3
経常利益	2,758	3.7	4,043	4.3	2,020	1.6	1,750	1.4	△270	△13.4
税金等調整前四半期純利益	2,704	3.6	4,021	4.2	1,789	1.4	1,550	1.2	△239	△13.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,645	2.2	2,563	2.7	1,102	0.9	1,000	0.8	△102	△9.3

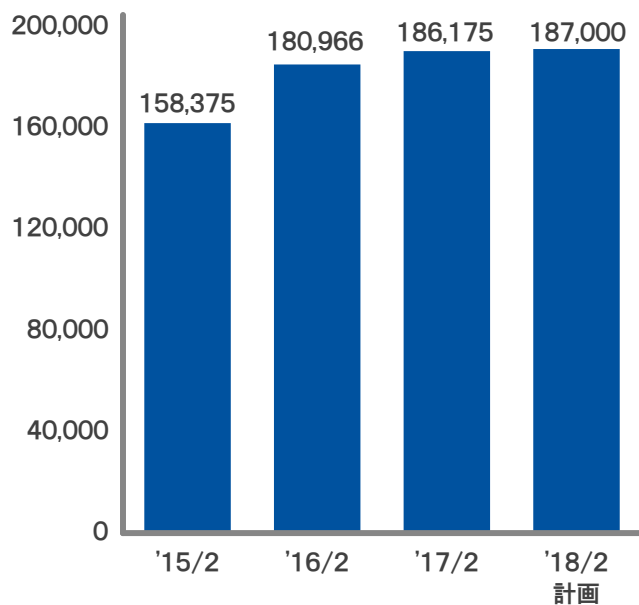
第2四半期累計(個別)	2015年2月期 第2四半期累計		2016年2月期 第2四半期累計		2017年2月期 第2四半期累計		2018年2月期 第2四半期累計			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	計画 (百万円)	構成比 (%)	差異 (百万円)	前期比 (%)
売上高	73,280	100.0	89,317	100.0	96,200	100.0	98,900	100.0	2,700	2.8
売上原価	54,925	75.0	67,268	75.3	71,544	74.4	72,300	73.1	756	1.1
売上総利益	18,354	25.0	22,048	24.7	24,655	25.6	26,600	26.9	1,945	7.9
販売費及び一般管理費	15,793	21.6	18,272	20.5	22,487	23.4	24,500	24.8	2,013	9.0
営業利益	2,561	3.5	3,776	4.2	2,167	2.3	2,100	2.1	△67	△3.1
経常利益	2,563	3.5	3,740	4.2	2,102	2.2	1,900	1.9	△202	△9.6
税引前四半期純利益	2,519	3.4	3,721	4.2	1,904	2.0	1,700	1.7	△204	△10.7
四半期純利益	1,527	2.1	2,343	2.6	1,343	1.4	1,100	1.1	△243	△18.1

49

[個別] 直営店の取扱台数

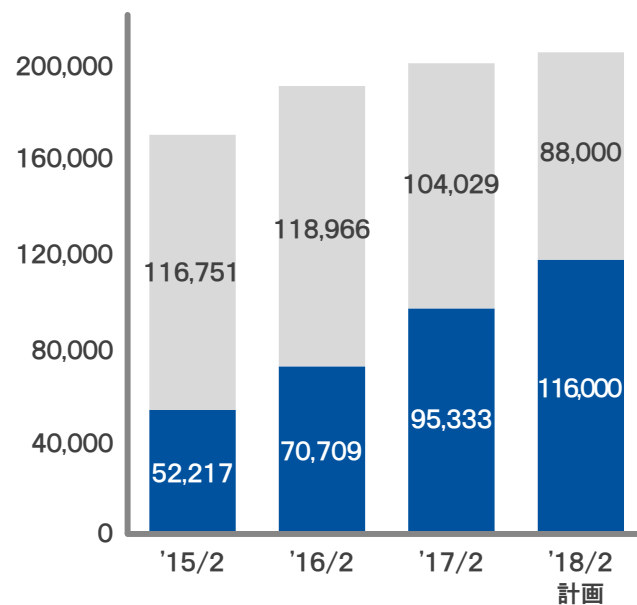
直営店買取台数

(単位:台)



直営店卸売台数・小売台数

(単位:台) ■ 小売台数 ■ 卸売台数

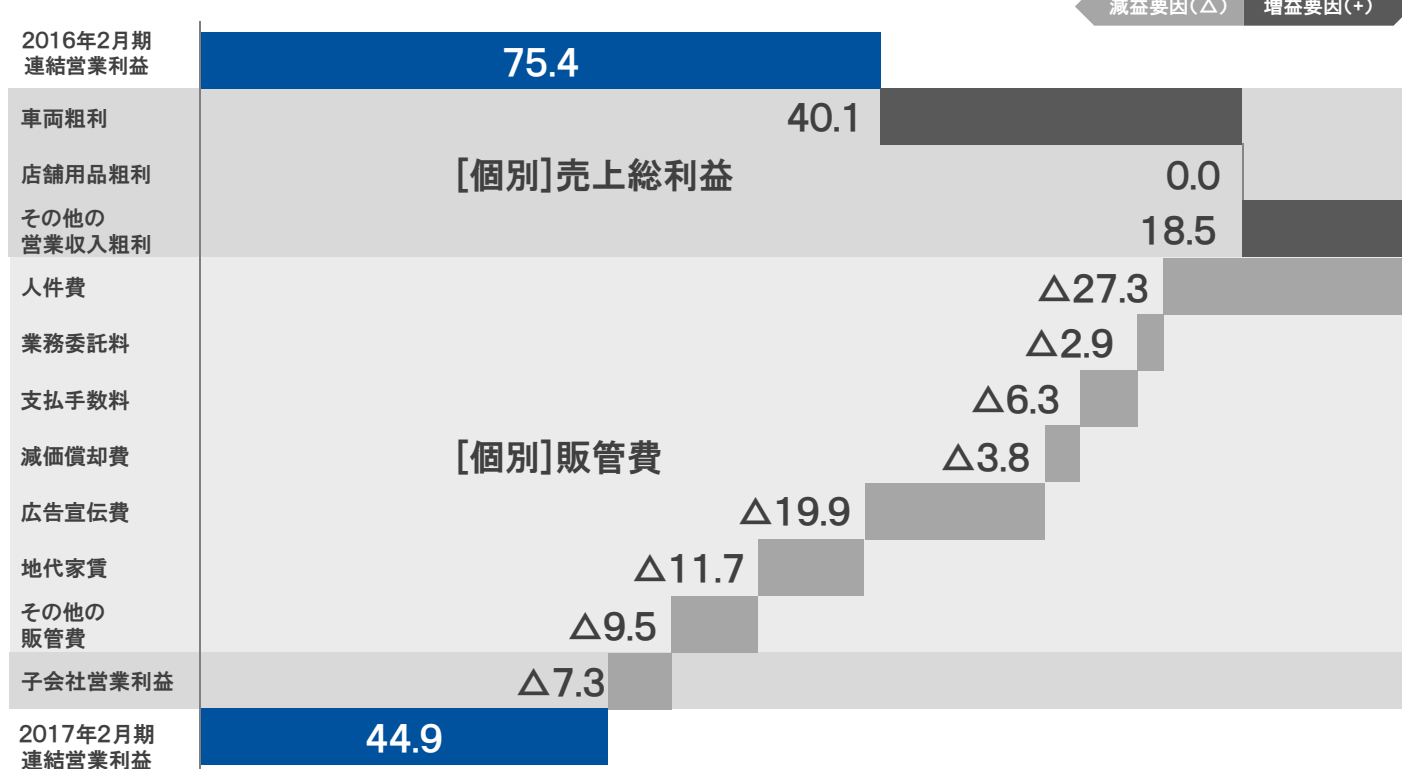


(注記)台数の定義

- 直営店買取台数.....一般消費者から買取った車両の台数
- 直営店小売台数.....直営店が一般消費者に小売した車両の台数
- 直営店卸売台数.....直営店がオークション等を通じて販売した車両の台数
- 直営店販売台数.....小売台数と卸売台数の合計

[連結] 営業利益の増減分析

(単位:億円) ※金額は、百万単位を切り捨て



[連結] 貸借対照表

	前連結会計年度 (2016年2月29日)	当連結会計年度 (2017年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,149	14,337
受取手形及び売掛金	5,192	4,655
商品	31,848	41,333
繰延税金資産	778	785
その他	2,159	2,717
貸倒引当金	△54	△64
流動資産合計	49,074	63,765
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,000	29,766
減価償却累計額	△8,564	△10,134
建物及び構築物(純額)	17,435	19,632
車両運搬具	435	312
減価償却累計額	△180	△100
車両運搬具(純額)	255	212
工具、器具及び備品	3,882	4,097
減価償却累計額	△2,874	△3,088
工具、器具及び備品(純額)	1,007	1,009
土地	218	218
建設仮勘定	826	961
有形固定資産合計	19,743	22,033
無形固定資産		
ソフトウェア	1,941	3,201
のれん	9,597	9,687
その他	3,974	4,024
無形固定資産合計	15,513	16,914
投資その他の資産		
投資有価証券	13	40
関係会社株式	45	247
長期貸付金	395	229
敷金及び保証金	4,565	5,033
建設協力金	4,304	5,214
繰延税金資産	274	361
その他	489	533
貸倒引当金	△209	△325
投資その他の資産合計	9,879	11,334
固定資産合計	45,136	50,281
資産合計	94,211	114,047

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2016年2月29日)	当連結会計年度 (2017年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,102	12,317
短期借入金	2,045	3,408
一年以内長期借入金	79	—
未払金	3,064	3,885
未払法人税等	1,778	679
前受金	3,026	4,228
預り金	475	383
賞与引当金	459	651
商品保証引当金	1,076	1,149
その他の引当金(流動)	113	175
その他	2,378	2,602
流動負債合計	28,600	29,483
固定負債		
長期借入金	22,851	40,774
長期預り保証金	651	529
役員退職慰労引当金	540	188
資産除去債務	1,653	1,866
繰延税金負債(固定)	1,086	1,127
その他引当金(固定)	388	425
その他	194	70
固定負債合計	27,365	44,983
負債合計	55,965	74,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,157	4,157
資本剰余金	4,032	4,032
利益剰余金	32,869	33,821
自己株式	△3,947	△3,947
株主資本合計	37,111	38,063
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1	578
その他の包括利益累計額合計	1	578
新株予約権	—	5
非支配株主持分	1,131	934
純資産合計	38,245	39,581
負債純資産合計	94,211	114,047

52

[連結] キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2015年2月期	2016年2月期	2017年2月期
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	56	4,121	△4,632
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,540	△17,686	△8,262
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,721	17,858	18,092
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△34	18
V. 現金及び現金同等物の増減額	△10,200	4,259	5,214
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	14,661	4,863	9,122
VII. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	402	—	—
VIII. 現金及び現金同等物の期末残高	4,863	9,122	14,337

53